

# 名経大通信

第21号

名古屋経済大学 <http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

2007年7月15日

## CONTENTS

### P1~4 新入生歓迎オリエンテーション

在学生による立案 地域の人たちとの交流

P5 勉学と社交ダンスを両立

P8 食をマネジメントする  
—管理栄養士の責務—

P6 サークル紹介「国試対策勉強会」  
「インディアカ」

P9 高校生のための情報サイト

P7 スクールバスとナイター施設完備



# 新入生オリエンテーション

GOAL 楽田コミュニティセンター ← 楽田小学校 ← 大縣神社 ← 本宮山展望台 ← 信貴山泉浄院本堂 ← 泉浄院三重塔 ← 信貴山泉浄院入口 ← 大学 START

## 先・後輩うちとけ

## 地域との交わり

大学／経済学部

入学式から間もない四月三日、経済学部では「フレッシュヤーズ・ウォーク2007」を実施しました。当日は天気恵まれ、大学をスタート地点、名鉄楽田駅近くの楽田ふれあいセンターをゴールとする、およそ七キロの行程を学生と教員と一緒に歩きました。コースは信貴山および本宮山も含み、かなりハードなものでした。新入生たちは、エネルギー補給のために配られた菓子パンをかじりながら、信貴山泉浄院本堂からの眺めを楽しんだり、尾張国開拓の祖神である大縣神社で一息ついたりしながら、犬山市の自然と歴史を満喫しました。

(経済学部准教授 原田裕治)

ゴールでは、楽田コミュニティの方々と盛大な歓迎を受けました。在学生とコミュニティの方々が協力して作り上げた豚汁、おにぎり、唐揚げ等が振る舞われ、ゲームにはコミュニティの方々が参加され、大いに盛り上がりました。

第一は、地域の方々と交流を図ることで、新入生には本学の一員としてだけでなく、本学のある地域(犬山市楽田地区)の一員としての自覚を持つってもらう。

第二は、在学生による実行委員会に立案・運営を担ってもらうことで、在学生には実践的に様々なことを学んでもらい、新入生には、大学全体から歓迎されていることを感じてもらおう。

第三は、学生と教職員の連携、学部・学科間、そして大学と地域の連携を強化する。

このため、実行委員会には人間生

活科学部の学生にも加わってもらいました。食事の準備では彼らの力が大きな助けとなりました。また、キャリアデザイン学科の日比野光敏先生が犬山市に伝わる郷土ずしを再現させ、管理栄養学科の中東真紀先生がメニューづくり等に協力してくださいました。さらに楽田コミュニティの方々が、会場設営等にも力を貸してくださいました。

新入生向けのアンケートでは、約四分の三の学生が「とても楽しかった」「楽しかった」と評価し、約三分の二の学生が、この企画で友だちができたと回答しています。第一のねらいは達成できたと考えられます。教員からも「ゼミの運営がやりやすい」といった声が聞かれます。

すでに二年生を中心に来年度に向けて動き出しています。さらに充実した企画となり、大学の一層の活性化につながってほしいと願っています。



犬山名物「箱ずし」

犬山には昔から「箱ずし」という文化があった。されば、そのずしを「作れ」との命令がとんだ。しかし、実は私、犬山で実際にこのずしを作っているのを見たことがない。

あれこれ言ってもしょうがない。「道具はこれに違いない」「こんな具を乗せたのかな?」と、とりあえず各務原や江南あたりの聞き取り情報をもとに、作ってみた。具はシイタケ、ニンジン、角麩、佃煮、紅シウガなど…。

オリエンテーション当日の朝、地元のお年寄りたちの前で、私とそのずしを見た。「うわあ、懐かしいわあ!」

やった。成功である。

でも、おばあちゃん。来年はこれのおすし、一緒に作ってよね!

(短期大学部キャリアデザイン学科 准教授 日比野光敏)



信貴山泉浄院で



ここでエネルギー補給



人間生活科学部とともに食事の準備



大縣神社で



地域の方が焼いた五平餅



地域の方々とゲーム楽しむ



楽田コミュニティセンターで

# 新入生オリエンテーション

## 勉学意欲 大いに高め

リエンテーションなどが行われました。出会ったばかりの者同士が泊りがけで同じ活動をするということで、当初は緊張した面持ちの学生が多いようでしたが、各種活動を行い、また一緒に食事をし、同じ部屋で寝るということを経験する中で徐々に打ち解け、終わりの頃には多くの友人を作っている姿が見られました。セミナー終了時のアンケートを見ると、学生の満足度は高く、友達づくりのきっかけや、勉学意欲の活性化につながっているようです。上級生の中には、フレッシュマンセミナーのようなことを皆でまたやりたいと希望する学生もおり、大学生活の印象深い思い出として心に残っているようです。



全体会風景

# 新入生に成功談・苦心談を語る

## 学生中心のセミナー開催

大学／法学部

四月二十一日に法学部新入生を対象とするフレッシュヤーズ・セミナーを行いました。午前中は在学生による大学での過ごし方やOBの方々のロールスクール・公務員の合格体験談、新入生の質問に在学生・OBが答えるパネルディスカッション、午後からは少人数で進学・公務員・資格試験・サークルなどそれぞれの分野の話を先輩から聞けるグループ



### フレッシュヤーズ・セミナーに参加して

このセミナーに参加して、将来の夢に一步近づけたような気がします。公務員になるためにはどのように学生生活を送ると良いのか、先輩方の体験談を聞き、今まで漠然と過ごしてきた日々を、より充実したものにするための方法を知ることができました。私も国家Ⅱ種に目標を置き、助言して下さった先輩のように、いつか自分も夢が現実になるよう頑張ろうと思います。  
(法学部一年 三輪明香)

ディスカッション等を行いました。今回私たちがセミナーを行った目的は、「新入生に目的を持って大学生活を送ってもらう」というものです。われわれ自身、先生や先輩方の話をうかがっているうちに、早期に目的を持って行動することが何より重要であると考えるからです。また同時に、在学生にとってもOBの話を聞いたり新入生に話をしたりすることで、目標に対して新たにやる気を起こす契機にもなりました。

### 短期大学部／保育科

保育科では、四月三日から一泊二日のスケジュールで犬山市内のホテルを会場にフレッシュマンセミナーが行われ、新入生全員、教員十人、助手二人の総勢百三十一人が参加しました。各種ガイダンスをはじめ、久保剛先生（附属市幼稚園園）と小島千枝先生（犬山市立楽田子ども未来園）の講演、犬山市街地でのゼミ対抗ウォークラリー、体育

### 短期大学部／キャリアデザイン学科

館での集団遊びなど充実した内容のものでした。参加者対象のアンケートによると、約九割が参加してよかったと回答しており、特に「新しい友達が沢山できて、うれしい」、「保育現場で働く先輩からのアドバイスが聞けてよかった」などといった感想が多数得られました。学校生活に不安の多い新入生にとって、大変有意義なものになったようです。



明治村でくつろぐ

キャリアデザイン学科では、四月三、四日の日程で、例年通り地元犬山市、入鹿池のほとりに宿をかまえ、初めて新入生全員参加のパワーフェクトな形で行われました。例年ならば、新入生ガイダンスを経た後に行っていたのですが、授業日数確保のため、二分の新入生ガイダンスの内容までも盛り込んだ超過密なものとなりました。

初日、朝十時本学集合、



私たちセミナー実行委員は三年生が中心となっていますが、すでに一・二年生のときにも少しやっておけばよかったと思うことも多いです。ただ漫然と過ごしてはあっという間に過ぎてしまう四年間、更なる大学院・ロールスクール進学に向けても、公務員・企業への就職に向けても準備は早いほどよく、何かに取り組むために十分な期間があるのは大学生活が最後かもしれない。「何かひとつのことに一生懸命に取り組んだ経験が、社会では最も重要になる」というお話も、当日先輩からありました。今回のセミナーが、参加したみなさん各自の目標に向けて

実りある大学生活を送っていたかどうかのヒントになれば幸いです。

学生のみで運営した今回のセミナーは、開催を決めてから当日まで期間が短く、連日遅くまで大学に残り、当日のスケジュールからパンフレット作成まで、あわただしく過ごしました。初の試みながらも多くの先生やOB、学生たちの協力もあって、課題は見つかりつつもひとまずは成功したのかなと思っています。回収したアンケートでも、「セミナーは参考になった」という意見が九割以上を占めており、来年以降も継続して行うという話も出ていますので、次回は今年の新入生である来年の新生の方にも企画に参加していただき、今回の反省を生かしつつより良いものにしていきたいと思っております。

(実行委員・法学部三年 柴田和人)

### 体験談を語った先輩たち

- 池村光央さん (〇六年卒・名古屋市役所勤務)
- 尾崎有美さん (〇六年卒・岐阜市役所勤務)
- 名城佳彦さん (〇七年卒・南山大学法科大学院)
- 大海好広さん (九九年卒・司法書士事務所勤務)



チェックポイントを無事に通過

十一時開始。入学前教育課題をゼミ別総合点で競う対抗試験、前キャリアセンター長の講話などをはさみ、途中四十五分間の昼食と小休憩はとるものの、十九時半までの長丁場でした。翌日は、七時起床。カタクリや桜の花が満開の新緑の明治村でフレッシュ。同じ釜の飯を食い、つらい体験、楽しい体験を共にした新入生の皆さんのイニシエーションは無事終了！ お疲れ様でした。



# 誕生しました! 奮って参加を!

僕は大学生活をより楽しむため自分達に合ったサークルを作りたいと思い、このインディアカサークルを作りました。なぜインディアカ



部長  
人間生活科学部  
管理栄養学科1年  
西村壮一郎

## インディアカ



メンバ―は管理栄養学科の1年生を中心に構成されています。今後は、インディアカのスキル向上とともにメンバ―の親睦を深めつつ、インディアカというスポーツを広めていきたいと思います。

楽しめると思ったからです。グッズができ、全員が

イヤカを選んだかという、マイナスポイントならみんなが未経験なので同じレベルでスポーツができ、全員が



部長  
人間生活科学部  
管理栄養学科3年  
浅田祐一

## 国試対策勉強会

「国試対策勉強会」は、難しいと言われる管理栄養士の国家試験も、「基礎から理解していけば解くことができる!」ということ

実感してもらうために立ち上げたサークルです。毎回、国家試験問題を解くことから始めて、その問題を通して栄養代謝など重要なテーマを理解してもらえらるよう、私が基礎からわかりやすく解説しています。現在管理栄養士はチーム医療の一員となることが求められており、それに対応できる応用力を身に付けるためには基礎の理解が重要なのです。



## ミニFM放送を 学内発信しています



昨年五月に本学にFM放送スタジオが完成しましたが、今度はこの五月から学内に向けてミニFM放送が発信できるようになりました。現在のところ受信機はコミュニティプラザ、六号館学生ホール、一号館学生自習室、一号館キャリアデザイン支援室などに設置してあります。

放送部は正式には昨秋発足し、スタジオの充実とともに活動の範囲を広げてきています。現在部員は十三人で、短大副学長の野田先生に顧問をお願いしています。昨年度までの活動は、愛知北FM(84.2MHz)の「こんにちはMeika daiです」のコンテンツの一部の制作が主でしたが、現在は、火曜日と木曜日のお昼休みに学内に向けてミニFMで流す番組を制作しています。また、十月から再び始まる「こんにちはMeika daiです」の制作の準備も進めています。

学内に設置してある受信機はか、FMラジオがあれば受信できますので、一度78.2MHzにチューニングしてみてください。

(短期大学部キャリアデザイン学科二年  
放送部部长 石松佑巳)



# ゼミの先生の一言が励みに 「勉学」と「社交ダンス」を両立

経営学部四年 吳 玲玲

私は中国・長春市の出身です。二〇〇四年、名古屋経済大学入学とともに、社交ダンスを始めました。現在四年生となり、社交ダンスでは「インストラクター四級」を持つ先生になりました。今年は三級を目指して頑張っています。

学生でありながら社交ダンスでも活躍をしていることは矛盾かもしれないですけど、経済、経営、マーケティングの勉強も、社交ダンスの勉強も、どちらも、社会生活を営む人間のコミュニケーションだと思っています。周りの人とうまく交流できることに生き甲斐、充実感を覚えます。大学の友達と仲良くすることが私にとって大きな財産であり、勉強したことを生かしてダンススタジオの経営をしたいと思っています。

ここまで順調に進んできたのは、ゼミの岡本秀昭教授の影響があります。「若いうちに何でもチャレンジしてみよう」と言われ、私の「やってみよう」気持ちを「やります」に変えてくれました。〇五年十月からインストラクター五級試験を目指して本格的にスタートしました。筆記は

法律、政治、スポーツに関する常識、ダンスの歴史。実技は九十九組のステップが試験範囲です。

「半年の準備期間では日本人でも難しい。留学生では無理だよ」と周囲から反対されました。しかし、ダンススタジオ経営者の松浦先生に励まされ、やる気高め、翌年四月に五級合格、次いで十一月の四級試験にも筆記満点で合格しました。

大学の教科は三年生までに全単位を取得し、四年生になってからは毎週金曜のゼミに出席し、仲間たちが

## 「気配り」と「努力」

彼女は、留学生という言葉のハインディを乗り越えて、自分の夢である社交ダンスのインストラクターにチャレンジし、見事に実現させました。学業と自分の夢を両立させることは大変だったと思います。それを極められたのも、彼女の持つ人間性、たとえば、お世話になった人や友達にお土産を買ってくるなどの「気配り」、卒業単位

「ダンスの先生になって明るくなったね」と言ってくれます。それ以外の日はスタジオで生徒さんを指導し、家に帰ってからもステップの研究をします。この間に試合に出たり、デモンストレーションの出演をしたり、東京と名古屋を行ったり来たり忙しく過ごしています。

観客の皆さんに喜んでもらえることが幸せです。将来、自分のスタジオを経営しながら、日本と中国のダンスに関する仕事をしたい。それが私の願いです。

も三年次までにほぼ取得し、また、卒業論文も春休み中に進めるなどの「努力」のたまものだと思います。今の若者にはやほつたと思われるような「気配り」「努力」「チャレンジ」という言葉が新鮮に感じられ、その重要性をゼミ生らに教えたような気がします。

(経営学部教授 岡本秀昭)

## スクールバスとナイター施設完備 柴田後援会長、総会で報告

名古屋経済大学・同短期大学部後援会の平成十九年度総会は六月二日開かれました。

あいさつに立った柴田弘会長は「学園の新たな百年の出発に当たり、特筆できることが二点あります。一つはスクールバスの大増発、もう一つはナイター施設の完備です。学生たちに喜んでもらっています」と語られました。



役員選出では、柴田会長、今井登久翁副会長の留任、辻進副会長の新任などが承認されました。

この場で、末岡副学長は「物心両面にわたるご協力にお礼を申し上げます。大学間の競争が激しさを増

し、より以上の特色を出し、新時代に備えた教育現場の活性化に努めてまいります」と抱負を述べました。また村瀬学生課長は「学生たちの生の声を吸い上げ、出来ることから実施します」、村田キャリアアセンダー長は「職業人生に関するアドバイスを力を入れていきます」と報告しました。

## ハノイ法科大学から訪問

ベトナムの「ハノイ法科大学」が日本の法学部の実態を知るため、五月十六日、名古屋経済大学を訪れました。

訪問したのは、トラン・ミン・フォングトラン行政法学部長ら五人。末岡

学長が歓迎のあいさつをし、樋口徹法学部長から本学の教育システムの特徴を説明、続いてコース選択や単位の取得などの質問に答えました。特に、少人数によるゼミナール学習については興味をもたれました。

ハノイ法科大学の訪問先は名古屋大学、龍谷大学、本学の三大学。懇談に次いで情報センター、図書館など学内を見学しました。

## 食をマネジメントする —管理栄養士の責務— 人間生活科学部管理栄養学科講師 中東真紀



「ありがとうございます!」と試食室に学生の声が続く。厨房の盛り付け室で、学生の盛り付けを見守りながら、その声を何度も聞いた。管理栄養学科三年生の授業「給食経営管理論実習」で行う大量調理の試食会である。

臨地実習に行くための準備であり、献立は全て学生が作成し一〇〇〜一二〇人分の昼食を調理する。温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たいまま食べていただく、適時適温給食であるが、料理が冷めていたというクレームも三件。また、髪の毛の混

入は二件。髪の毛をすべて帽子の中に入れる意味がわかったたてである。実習では、管理栄養士・調理師・調理員と各担当に分かれて業務を行う。髪の毛は、下調理から配膳までの、どの作業で混入したのかわからない。その責任は管理栄養士がとるのだ。責任を押しつけ合うことはしない。

管理栄養士は大量調理のすべての管理を行なう重要な役目である。最後の実習を終えて「もう終わりなの? もっとやりたかった」という声を学生から聞いた。これからも「お客様、患者様に食べていただき、ありがとうございます」という気持ちを持ち、臨地実習に臨んでほしい。今回、試食していただいた全ての方々に、心から感謝、御礼申し上げます。

◇ 中東先生は現在「中日新聞」毎月最終金曜日朝刊「医療と社会」のカラーページで、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病をはじめ、各疾患の治療食を紹介する記事を連載中。



## 就職と人生の相談に応じます



キャリアアセンダー長 村田一美

四月にキャリアアセンダーに着任しました村田です。見かけはオヤジですが、気持ちには皆さんに負けず劣らずの好青年です。直近の五年半は人材会社で再就職支援・転職支援に携わっていました。よろしくお願ひします。

キャリアアセンダーでは求人紹介、面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方だけでなく、職業人生、キャリアデザイン等について一緒に考え、良きアドバイザーになりたいと思っています。それは会社に就職する、しないということだけではなく、どんな職業を選択したいか、その職業を通して会社で、人生で、何を達成したいか、自分はどうなりたいかなどについてアドバイスしたいと思っています。そのため資格を持ったベテラン職員が相談に応じています。気軽に立ち寄り下さい。一緒に頑張りましょう。

今後、皆さんの大半が就職されると思いますが、社会に出る最後の助走路が大学・短大です。この学生時代を

大事にしてほしいと思いますし、学生時代に何をやってきたか? 何に熱中してきたか? それによって何を得たか? 面接試験で必ず聞かれます。学生時代を無為に過ごすことなく寸暇を惜しんで学び、遊び、そして良き友人を作ってください(三位一体です)。

就職活動はできるだけ早くスタートし世の中にどのような業種・職種・会社があり、自分はどういうような職業に従事したいかをイメージし、研究していくことが大事です。あるがままの自分を売るのはなく、企業の望む人材に作り上げ努力した自分を売り込んで下さい(就職とは売り込みです)。そしてしっかりと仕事観を持ち、労働時間の切り売りではなく仕事を通じての達成感・やりがいを持てるよう、また生涯勉強も必要です。

家庭や社会の庇護の下で生きてきた今までと違って、これからは社会の正式な構成員となります。芒洋とした大海原の前に途方にくれるかもしれせん。気軽にキャリアアセンダーにお立ち寄り下さい。就職に関しても人生に関しても先輩が相談に応じますし、様々な資料を用意しています。是非活用してください。お待ちしております。

## 企業の社会的責任と消費者問題 活発な質疑 消費者問題研究所の講演会



近年、企業不祥事が発生する中で、企業のあり方や果たすべき責任が、これまで以上に重視されるようになってきています。

蔵本氏からは「ミズノ株式会社におけるCSRに対する取り組み」について、樋口氏からは「CSRを考える上で、企業、消費者、行政がうまく連携する必要性」について、伊藤所員からは「企業哲学の観点からみたCSR」について報告が行われました。関心の高いテーマであることから、活発な質疑応答が行われ、講演会は盛況のうちに終了しました。

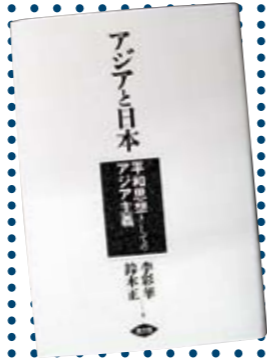
(経済学部講師 加藤秀弥)



## 平和思想としてのアジア主義

本書は、かつてのアジア主義、アジア主義などが果たした歴史的役割や思想的意義を、日中両国の視点から反省的に検証したものです。樽井藤吉、橋樑、北一輝、三木清、尾崎秀実、竹内好など六人の人物を取り上げています。

世界は、いま、グローバル化の波に呑み込まれ、欧米一元文明観による支配を経験しています。その渦中に欧州連合（EU）、北米自由貿易地域（NAFTA）などの新しい地域連合が結成されるようになり、アジアでも、近年、「東アジア共同体」の創設をめぐる動きが活発になってきました。今日の新たなアジア連帯の機運に、樽井藤吉たちが繰りひろげてきた、かつてのアジア主義的な言説と実践はいかなる示唆を持ちつつあるのか、



「アジアと日本」  
 大学副学長 鈴木 正 著  
 経営学部准教授 李 彩華 著  
 農文協

まさにその理想と挫折に学ぶことを念頭に、本書はまとめられています。アジア主義は、多種多様な意味をもつ概念として、その帰結からみれば、戦前の日本の侵略主義を粉飾した思想だと、もちろん断罪できます。しかし、その原点に立ち返ってとらえ直すと、欧米覇道型の近代化路線に対抗するために、アジアの価値を重視したアジア連帯論を提唱するという普遍的な理想の存在も明らかに浮かびあがってきます。それは、樽井藤吉の「東洋社会党」、橋樑による日本人の中国認識批判と中国革命論、北一輝の中国革命への参与と民族主義者宋教仁への共鳴、三木清や尾崎秀実の「抵抗としての協同体文化論」と「東亜協同体論」、竹内好の日中近代化論といった深い思索、またはダイナミックな実践活動によって繰りひろげられていたわけです。

本書は、こうしたアジア主義の普遍的価値理念に焦点を当てています。序章の言葉を借りれば、「日本のアジアに示した関心をふりかえることによつて、理念理想としてのアジア主義の言説をグローバルイズムの一元的文明の危機的な現実と対決させて活性化させる希望が、かすかに展望できるのではないか」。そんな期待が込められています。

（李 彩華）

## 「親子であそぼう会」 いい汗、いい笑顔



父の日の六月十七日。附属市幼幼稚園では「親子であそぼう会」が行われ、在園児とその保護者の笑顔と歓声がキャンパス全体に広がりました。年少クラスは「親子で楽しむリトミック」、年中クラスは「親子で体を動かす」、いっばい汗をか

こう、年長クラスは「親子で料理しよう」のテーマで開かれ、それぞれ遊戯室、メインアリーナ、調理実習室の会場に分かれて、約四百人の親子が思い思いのふれあいを楽しみました。

指導したのは本学の先生たち。それぞれの学年に、星野名生規講師（短大部保育科）、川添公仁准教授（人間生活科学部幼児保育学科）と寺田泰人准教授（短大部保育科）、長島万弓准教授と李温九講師（いずれも人間生活科学部管理栄養学科）が入り、附属幼稚園の先生とともに子どもたちの活動をサポートしました。

年長クラスは、豆腐白玉つくりに挑戦しました。わが子が包丁を扱う姿を見てある母親は、「今日が初めてでしたが、うまくいきましたね」と感心していました。「こうして自分でやったという子どもの実感を大切にしたい」と長島准教授。附属幼稚園の御手洗和子園長は、「最近ではテレビゲームが中心ですから、親子で遊ぶことのできる催しを大学と協力してこれからもやっていきたい」と話していました。

六月十二日、名鉄グランドホテルにて講師に佐々木かをり氏を迎え、「主役力を高めるハッピーな毎日をつくるために」というタイトルの下、本年度のキャリアデザイン学科公開講演会が開催されました。

佐々木氏は二児の母であり、ユニカルインターナショナルとイー・ウーマンという二つの企業の代表取締役であり、文部科学省中央教育審議会、法務省法制審議会委員や、フジテレビ「とくダネ!」やTBS「ブロードキャスター」のコメンテーター等、



佐々木かをりさん講演会

名古屋ポストン美術館  
 の入館無料に  
 五月一日から、市邨学園は名古屋ポストン美術館（名古屋・金山）の「学校法人賛助会員」になりました。大学院・大学・短期大学の学生は、学生証を見せれば入館料が免除されます。

開館時間  
 （平日） 10時～19時  
 （土日祝） 10時～17時  
 休館日／月曜日

徳川美術館も入館無料  
 名古屋経済大学は徳川美術館大学メンバーシップの正規会員です。やはり学生証を見せれば無料入館できます。

開館時間／十時～十七時  
 休館日／月曜日

多方面で活躍中で、知名度も高く、二百三十席の会場は補助いすを出す盛況ぶりでした。講演の内容を一言、人生の主役は自分であり、自分だけでなく他の人をも幸せにする主役であるというもので、キャリアデザイン学科の教育理念と一致するものでした。講演後は予定の時間を超えて聴衆との熱心な質疑応答があり、盛況のうちに終了しました。

### 高校生のための情報サイト

「メイケイダイドットコム」では高校生に向けて、最新の入試情報や大学案内で紹介しきれない詳しい内容を発信しています。学生や教授の話など等身大の大学生活がわかるコンテンツやクラブ・サークル活動の情報、オープンキャンパスなど催事の告知もありますので、もっと大学のことが知りたいという方はぜひご覧ください。

<http://www.meikedai.com>



### 携帯版ウェブサイトもオープン

「メイケイダイドットモビ」は今年からスタートした高校生のための携帯版ウェブサイト。大学の気になる情報やオープンキャンパスなどの催事情報など、タイムリーな内容を中心に紹介していきます。もちろん資料請求もできますので、いつでも気軽にご利用ください。

<http://www.meikedai.mobi>



携帯電話から簡単アクセス  
 2次元バーコードを携帯電話で読み取れば携帯サイトへ簡単にアクセスできます。

# 写真、絵画、手芸品 図書館ギャラリー

図書館を近隣の皆さんに地域開放してから7年目を迎えました。現在、図書館登録利用者は、生涯学習の場として効果的に図書館を活用されています。



図書館は人が集まる場所、この特性を生かして一階フロアのスペースを利用した「展示」を昨年四月から本格的に始めました。展示は、近隣の個人・団体の方々のご協力により、通算十三回実施することができ、学生や教職員など訪れる人達の目を惹きつけました。

展示の一部を紹介すると、手作りカメラで撮影した「古希記念写真展」はアマチュア写真家ならではの温かみを感じるものでした。また、「百景新話」は中部写真記者協会のグランプリ受賞作品で、朝日新聞の連載（一〜三十回の三十枚）作品集です。見事なプロの写真に魅了されますが、さらに地図や解説が加えられたことで一つ一つの作品の美しさが引き出

18年度 図書館展示記録	
出品者	展示品：テーマ
1 香川 俊博氏	写真展：桜
2 ニッコールクラブ・名古屋キャッスル支部	写真展：トルコ・冬の旅
3 河村 正幸氏	写真展：白川郷の四季
4 香川 俊博氏	写真展：森と公園（カナダバンクーバー）
5 石田季美枝氏	絵手紙：うちわ展
6 磯川 晴美氏	手作りカメラによる古希記念写真展
7 牧野 勝廣氏	全国のお城の絵展（デジタル手法）
8 石田季美枝氏	市郷学園創立100周年記念 おめでとう 絵手紙展
9 山岳写真家 嶺（タカネ）	山岳写真展
10 ニッコールクラブ・名古屋キャッスル支部	写真展：庄内川特集
11 中生加康夫氏	写真展：「百景新話」
12 出口 五生氏	写真展：アメリカの国立公園
13 丹羽美代子氏	伊勢型紙作品展

されています。ちなみに、執筆者は本学の広報を担当されている中生加康夫さんです。

写真のほかに展示された「全国の城の絵展」は、デジタル手法・画法を利用したボールペン画で細密な筆致の作品でした。また、大学祭では本学OBを講師に招き、学園創立一〇〇周年を記念した催し「おめでとう絵手紙展」と体験絵手紙教室はたいへん好評を博しました。

今年度も、絵画や手工芸品などを新たに加えるなど、引き続き展示を介して人と情報、人と人が出会い、コミュニケーションする場として図書館の役割を担っていただきたいと考えます。

誌面をご覧の皆さんも一度作品展を開いてみませんか。お気軽に図書館までお申し出ください。

(図書館部長 加藤裕子)

## 平成20年度（2008年度）入試日程

※選考方法については、「2008年度入学試験要項」にてご確認ください。

**オープンキャンパス**  
**OPEN CAMPUS**

AM 10:00 ~ PM 3:00 受付 AM 9:30 ~

**夏のオープンキャンパス**  
第1回  
**7/22 sun.**

第2回  
**8/19 sun.**

**秋のオープンキャンパス**  
大学祭同時開催  
**10/20 sat. & 21 sun.**

大学祭と併せてオープンキャンパスを同時開催いたします。  
大学を自分の目で見て体験できるチャンスです！  
相談コーナーもありますので気軽に参加してください。

- 体験授業 ● 施設設備の自由見学
- 進学相談コーナー ● サークル案内

参加者全員に大学案内パンフレット・願書・オリジナルグッズなどを無料配布します。  
また、学食にて昼食を用意しています。

お問い合わせ／入試広報部：0568 (68) 0490

入試区分	経済学部					経営学部		法学部		人間生活科学部 (幼児保育学科・管理栄養学科)			出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
	現代経済	経営	法	人間生活科学	短期大学	経済	法	幼児保育	管理栄養	保育	子ども				
公募制推薦 (前期)	A方式※1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	平成19年10月19日(金)~10月29日(月)	11月 4日(日)	11月 6日(火)
	B方式※2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	C方式※3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	D方式※4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	E方式※5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
公募制推薦 (後期)	A方式※1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	平成19年11月30日(金)~12月10日(月)	12月16日(日)	12月18日(火)
	B方式※2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	C方式※3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	D方式※4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	E方式※5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			

※1 基礎力テスト型 ※2 小論文型 ※3 基礎力テスト十面接型 ※4 小論文十面接型 ※5 自己PR型

大学院	課程試験区分	研究科・専攻	出願期間 (消印有効)	面接日または試験日
法学研究科	修士Ⅰ期	法学	平成19年8月22日(水)~8月30日(木)	9月15日(土)
	修士Ⅱ期	企業法学	平成20年1月15日(火)~1月23日(水)	2月 9日(土)
会計学研究科	博士前期	会計学	平成19年8月22日(水)~8月30日(木)	9月16日(日)
	博士後期・博士前期		平成20年1月15日(火)~1月23日(水)	2月10日(日)
人間生活科学部 研究科	修士Ⅰ期	幼児保育学 管理栄養学	平成19年8月29日(水)~9月 6日(木)	9月23日(日)
	修士Ⅱ期		平成20年1月22日(火)~1月30日(水)	2月16日(土)
	修士Ⅲ期		平成20年2月26日(火)~3月 5日(水)	3月 9日(日)